



ダイヤモンド Diamond

ダイヤモンドのように、
キラキラと輝くみんなへ願いを込めて



無人島エンカウンター

あれは1年前のことでした。外国に行く船が沈没し、ほとんどの人はたすかりませんでしたが、6人だけが無人島にたどり着きました。それから1年。6人は毎日のように日本に帰るためのいかだを作り、やっと完成しました。「これで1か月後には日本に帰れるぞ」と、みんな踊り上がって喜びましたが、しばらくして大きな問題に気付きました。水は飲めますが、食料を積むと5人しか乗れません。水と食料と6人全員が乗れる大きないかだを作りなおすには、1年以上かかります。しかも、1人は重い病気にかかって動けません。どうしたら良いのでしょうか。

- ア 病気の人と看病する人の2人が島に残り、4人が食料と水を積んだいかだに乗る。
- イ くじ引きで1人が島に残り、病気の人も含めて5人が食料と水を積んだいかだに乗る。
- ウ 食料は積まず、6人全員が水だけ積んだいかだに乗る。
- エ 大きないかだを作り直すまで6人全員が島に残る。

1月15日(金)の道徳の授業で上記のエンカウンターというものを行いました。エンカウンターとは、正解や何が正しいとかではなく、他の人の意見に触れ合うことでお互いの意見を認め合う体験のことです。



みんなの授業中の様子を見ていて、自分の考えをまとめ、班を作って意見の発表を行いました。それぞれの考え方で意見交換をすることで「こんな考え方もあるんだな〜」と大竹さんの感想から分かるようにお互いの考えを認め合うことができていたと思います。また、班の代表者が発表しているときのみんなの聞く姿勢に感心しました。班の人と相談していても静かになって発表者の意見を聞くことができていました。また、発表者の理由も論理的に話すことができていたのが素晴らしいかったですね！